

# 住団連

豊かな住生活をめざして—

平成24年10月号 Vol.227



ホームページに全文掲載しています ホームページ <http://www.JUDANREN.or.jp>

## 就任ご挨拶

国土交通省 住宅局長 井上 俊之

住宅局長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

貴連合会におかれましては、住宅生産・供給に共通する課題に関する調査研究や政策提言等を通じて、住宅・住環境の質の向上に貢献してこられたことに、深く敬意を表します。また、東日本大震災の被災地における応急仮設住宅の供給に際して、大変ご尽力いただきましたことに、深く感謝の意を表します。



さて、私が建設省に入省した約30年前（1981年）と今日の経済社会の状況を比べますと、人口、世帯数については、1億1706万人、3582万世帯（1980年）から1億2806万人、5184万世帯（2010年）へと増加してきたものの、今後は減少することが見込まれる一方、高齢化率については、9.1%（1980年）から23.0%（2010年）へと急増しており、新設住宅着工戸数については、約115万戸（1981年）から、バブル期のピーク約171万戸（1990年）を経て、約83万戸（2011年）へと減少しています。この間の経済社会の変化は大変大きく、いわゆる右肩上がりの時代は終わりを迎えており、住宅政策においても、こうした経済社会の変化を踏まえた施策展開が求められています。

昨年3月に全面的に改定した「住生活基本計画（全国計画）」は、こうした認識を踏まえ策定したものであり、現在はこの計画に基づき、省エネ性・耐震性等の住宅の品質・性能の向上、住生活の安心を支えるサービスが提供される環境整備、住宅の適正な管理及び再生の推進、既存住宅流通・リフォー



## 10月は住生活月間

ム市場の整備、重層的な住宅セーフティネットの構築等に取り組んでいるところです。

特に今後は、低炭素・循環型社会の構築に向け、ゼロ・エネルギー住宅に対する支援や省エネ改修に対する支援を行うとともに、新築住宅・建築物の省エネ基準への適合を段階的に義務化していくための検討を進めてまいります。

また、安全確保のための耐震診断・改修の推進についても、不断の取組が必要であり、制度の充実を進めてまいります。

さらに、介護や医療サービスと連携し、高齢者が安心して居住できる環境を提供するため、改正「高齢者住まい法」に基づき昨年10月に創設された「サービス付き高齢者向け住宅」の供給拡大などに取り組んでまいります。

ストック重視の施策としては、2020年までの中古住宅流通・リフォーム市場の規模倍増を目指し、今年3月に策定した「中古住宅・リフォームトータルプラン」に基づき、インスペクションの普及や瑕疵担保責任保険の充実、リフォームの担い手の育成、消費者に対する的確な情報提供等に取り組んでまいります。

貴連合会におかれましては、これらの施策について、これまで以上にご理解、ご支援いただくとともに、国民一人ひとりが豊かさを実感できる社会の実現に向け、会員企業の皆様ともども、一層の積極的な取り組みを頂きますよう、お願い申し上げます。

最後に、貴連合会及び会員各位の更なるご発展と、皆様の益々のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、私の就任の挨拶とさせていただきます。

## 就任ご挨拶

国土交通省 住宅局住宅生産課長 伊藤 明子

住宅局住宅生産課長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

社団法人住宅生産団体連合会の皆様には、平素より、住宅生産行政の推進に当たり、ご理解ご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。



昨年3月の東日本大震災から1年半が過ぎ、応急仮設住宅の建設について、一部の追加工事や福島県内の避難者対応の工事継続以外は完了しており、ご協力を頂いた関係者の皆様に、改めて厚く御礼を申し上げます。被災地の本格的な復興段階を迎えており、関係者の皆様のより一層のご協力・ご支援をお願いしたいと存じます。

住宅は国民一人一人の大切な生活基盤であることはもちろんですが、内需拡大の柱としても重要な役割を担っております。少子高齢社会を迎え、世帯数も減少することが見込まれ、新築着工戸数も長期的には減少傾向にあるなか、住宅産業も新たな展開が求められています。

まず、住宅の質の向上等投資規模の拡大が求められます。新築においては、長期優良住宅の推進や、省エネルギー化に加え、創エネ、蓄エネなど環境関連の設備の導入などが世の中に浸透しつつあり、その支援などを引き続き進めます。

今後はさらに、本年3月に公表した「中古住宅・リフォームトータルプラン」に示したとおり、既存住宅施策の取り組みの加速が求められています。2020年度にこの市場規模を20兆円へと倍増するべく、既存住宅の流通の促進に向け、情報提供や取引が安心して円滑に行えるよう、インスペクションのガイドラインの策定、中古住宅の売買やリフォームにおける住宅瑕疵担保保険の充実、既存住宅にかかる性能表示や長期優良住宅制度の基準の整備などを進めてまいります。このほか、耐震改修の促進をすることなどにより、住まいの質の向上のみならず、投資機会拡大を図ります。

次に、省エネルギーについては、地球温暖化対

策に加え東日本大震災に伴う電力需給の逼迫から、国民の関心がかつてないほどに高まっています。現在、省エネ法に基づく省エネルギー基準の見直しや都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく低炭素建築物の認定制度などを進めておりますが、今後、性能表示や長期優良住宅制度への反映も予定しております。加えて、2020年までに全ての新築住宅・建築物について段階的に省エネルギー基準への義務化に向け、必要な検討を進めてまいります。

さらに、我が国は、世界でも有数の森林資源を有しておりますが、戦後植林されたものが利用可能な時期を迎えており、地域産業の振興とも相まって必要とされる、木造住宅・建築物の振興が必要とされております。その振興とあわせ、なかでも担い手である大工・工務店の技能や体制の強化に寄与する取り組みを引き続き進めてまいります。

そのほか、住宅産業としては、住宅そのものに重点をおくことに加え、住生活総合産業としての視点が必要です。単身者や高齢者の増大に伴う新たなサービスとの連携、住み替え時等の住宅資産の活用等、住宅のハードのみならず、ソフトも一体となった事業展開が望まれます。

貴連合会の会員の皆様におかれましては、引き続き、様々な観点から密なる情報交換・意見交換をさせていただき、必要な施策の実施にあたり、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、貴連合会のさらなるご発展、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶と致します。

## ◇「第24回住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in ちば」 開催のお知らせ

住生活月間中央イベント実行委員会（委員長 樋口 武男（社）住宅生産団体連合会会長）では、2012年10月12日（金）～14日（日）、千葉県千葉市の「幕張ハウジングパーク」にて、「第24回住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in ちば」を開催いたします。

同イベントは、住宅に関する充実した情報を全国の消費者に提供し、国民の皆様に住生活、住環境に関する知識や理解を深めていただくことを目的に、1989年から実施しているものです。

今年度は、「家族で創る、住まいの新しいカタチーゼロエネルギー住宅が切り拓く、これからのくらしー」をメインテーマに、千葉県において記念式典、展示イベント等を開催します。

今年度も、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、合同記念式典、テープカットセレモニーを行います。

### 【開催概要】

- ・ 名 称：第24回住生活月間中央イベント スーパーハウジングフェア in ちば
- ・ 日 程：2012年10月12日（金）  
9：10～10：25 ①テープカットセレモニー  
11：00～11：45 ②合同記念式典
- ・ 会 場：  
①幕張ハウジングパーク  
（テープカットセレモニー・展示会場）  
（住所：千葉市花見川区幕 5-417-7）  
②ホテルニューオータニ幕張  
（合同記念式典）  
（住所：千葉市美浜区ひび野 2-120-3）
- ・ 主 催：住生活月間実行委員会、住生活月間中央イベント実行委員会
- ・ 後 援：国土交通省、住宅金融支援機構、都市再生機構、千葉県、千葉市
- ・ 入場無料
- ・ 開催テーマ：「家族で創る、住まいの新しいカタチーゼロエネルギー住宅が切り拓く、これからのくらしー」

### 【パネル展示】

中央イベントメインテーマ展示（映像入り、クイズ付）・第8回「家やまちの絵本コンクール」入賞作品、その他関連団体のパネル展示を行います。

\* 詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://chuo-event.jp/>

お問い合わせ先：住生活月間中央イベント実行委員会事務局 松田・松本  
Tel：03-3592-6786

## ◇「ゆとりある豊かな住生活を実現する 国民推進会議」全国フォーラム開催の ご案内

日本の住宅政策は、少子高齢化などをはじめとする社会の変化や、地球温暖化問題等、時代の要請に伴い、社会的資産としての良質な住宅ストックを形成し、ながく大切に住み続けるストック型社会へと大きく転換しつつあります。そして、これを実現するためには、広く国民にその方向性を理解してもらい、事業者ともども努力していくことが必要です。今年度の「ゆとりある豊かな住生活を実現する国民推進会議」全国フォーラムは、「日本の明日を支える住まいづくり」をメインテーマに、下記の内容にて開催いたします。

### 【開催概要】

- 日時：平成24年10月29日（月）  
13：30～16：50
- 場所：東京国際フォーラム・ホールC  
東京都千代田区丸の内3-5-1
- プログラム
  - ◇ セレモニー 13：30～14：00  
奥田会長挨拶、大会宣言など
  - ◇ 基調講演 14：00～15：00  
講師：伊藤 元重 氏  
（東京大学大学院経済学研究科教授 /  
総合研究開発機構（NIRA）理事長）  
テーマ：「住から日本経済の未来を考える」
  - ◇ シンポジウム 15：20～16：50  
テーマ：「日本の明日を支える住まいづくり」  
パネリスト：荻本 和彦 氏、土居 丈朗 氏  
永井 美奈子 氏  
森本 登志男 氏  
コーディネーター：青山 佳世 氏
- 参加費：無料（下記ホームページより参加申込票をダウンロードしてお申し込みください）  
<http://www.jyuseikatsu-kaigi.jp/>
- 主 催：「ゆとりある豊かな住生活を実現する国民推進会議」
- 事務局：（社）住宅生産団体連合会内  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-6  
晩翠軒ビル  
TEL 03-3592-6497 FAX 03-3506-0655

## ◇第8回「家やまの絵本」コンクール 結果の報告

第8回「家やまの絵本」コンクールを実施しましたが、このたび受賞作品を決定いたしました。概要は次の通りです。

### 1. 実施概要

①募集期間：7月20日から9月6日（消印有効）

②募集部門：

A) 子供の部（小学生以下、親による製本化の手伝いは可）

B) 中・高校生の部

C) 大人の部（18歳以上）

D) 合作の部（制作者が複数いる場合）

③応募総数：926件

（ア）審査日程：9月21日（金）

（イ）審査委員：

延藤 安弘（愛知産業大学大学院 教授）－  
審査委員長

小澤紀美子（東京学芸大学 名誉教授・東海大学 教授）

町田万里子（手作り絵本研究家）

勝田 映子（筑波大学附属小学校 教諭）

大道 博敏（江戸川区立平井西小学校 主幹教諭）

加古貴一郎（国土交通省住宅局 木造住宅振興室長）

仲田 正徳（住宅金融支援機構 CS推進部長）

鳥巢 英司（都市再生機構 カスタマーコミュニケーション室長）

佐々木 宏（住宅生産団体連合会 専務理事）  
（敬称略）

2. 表彰：国土交通大臣賞（1作品）、文部科学大臣奨励賞（2作品）、住宅金融支援機構理事長賞（1作品）、都市再生機構理事長賞（1作品）（いずれも図書カード5万円）、住生活月間中央イベント実行委員長賞（4作品、図書カード3万円）

入選作品（20作品、図書カード1万円）

参加賞：応募者全員に応募作品の希望のページを複製してミニオリジナルスタンドパネルを制作します。

3. 展示：10月から11月にかけて住宅金融支援機構のギャラリー会場にて展示を行う

4. 主催：住生活月間中央イベント実行委員会

共催：社団法人 住宅生産団体連合会

後援：国土交通省、文部科学省、住宅金融支援機構、都市再生機構、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、愛知県教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会

第8回「家やまの絵本コンクール」受賞者一覧表

| 部門    | 受賞                   | タイトル            | 製作者                           | 学校等          |
|-------|----------------------|-----------------|-------------------------------|--------------|
| 合作の部  | 国土交通大臣賞              | じいじいのまち         | ハヤシ 林 <small>ミカ</small> 美香    | 母            |
|       |                      |                 | ハヤシ 林 <small>ユウハ</small> 優羽   | 宝塚市立光明小学校1年  |
|       |                      |                 | ハヤシ 林 <small>ミハネ</small> 美羽   | めぐみ幼稚園年少     |
|       |                      |                 | ワタダ <small>カツミ</small> 綿田 克己  | 祖父           |
| こどもの部 | 文部科学大臣奨励賞            | もし、やさしいに、すめたなら？ | コバヤシ <small>マコ</small> 小林 真子  | 市川市立新井小学校2年  |
| 中高生の部 | 文部科学大臣奨励賞            | ねえ、             | アラタニ <small>ミサト</small> 荒谷 美里 | 福井県立科学技術高校3年 |
| 合作の部  | 住宅金融支援機構理事長賞         | 木の家のたてかた        | カヤバ <small>ケイキ</small> 萱場 けやき | 檜原村立檜原小学校5年  |
|       |                      |                 | カヤバ <small>メイコ</small> 萱場 明子  | 母            |
| 大人の部  | 都市再生機構理事長賞           | すてきなおにわ         | エグチ <small>エイコ</small> 江口 えい子 | 主婦           |
| こどもの部 | 住生活月間中央イベント実行委員会委員長賞 | みんながすみやすい町      | 岡 あずさ                         | 横浜市立丸山台小学校3年 |
| 中高生の部 | 住生活月間中央イベント実行委員会委員長賞 | モモ              | 相澤 更                          | 自由の森学園高校1年   |
| 大人の部  | 住生活月間中央イベント実行委員会委員長賞 | 日本を歩く少年少女       | フカザワ テツヤ                      | イラストレーター     |
| 合作の部  | 住生活月間中央イベント実行委員会委員長賞 | どちらさまですかぁ       | 渡辺 士温                         | 府中つくし幼稚園年少   |
|       |                      |                 | 渡辺 晟矢                         | 1歳           |
|       |                      |                 | 渡辺 有香                         | 母            |
|       |                      |                 | 渡辺 涼仁                         | 父            |



## ◇平成 24 年防災功労者内閣総理大臣 表彰状を受領

平成 24 年 9 月 10 日、ホテルグランドアーク半蔵門において防災功労者に対し、野田佳彦内閣総理大

臣からの表彰状授与式が行われました。

同式典では平成 24 年防災功労者の団体部門として、(社)住宅生産団体連合会も表彰され、樋口会長が表彰状を受領しました。



## <委員会活動 (8/16 ~ 9/15) >

- 住宅性能向上委員会 SWG (8/20) 13:00 ~ 15:00
  - ・省エネ基準見直しについての合同会議(第 1 回)に対する議事内容の確認
  - ・合同会議(第 1 回)への意見要望内容の検討
- 住宅性能向上委員会 SWG2 (8/22) 13:00 ~ 15:00
  - ・工務店ヒヤリングのまとめとその内容の確認検討
  - ・普及推進に向けた課題と対策検討
- 住宅性能向上委員会 WG (8/23) 13:30 ~ 15:30
  - ・最近の住宅政策動向について(省エネ基準見直しについて他) / 国土交通省住宅局住宅生産課
  - ・SWG1 及び SWG2 の活動状況報告について
  - ・日本の住まいの知恵に関する検討調査委員会第 2 回委員会報告
- 消費税 SWG (8/23) 16:00 ~ 18:00
  - ・住宅消費税の海外調査の具体的スケジュール等について
  - ・ヨーロッパ A 班 9 月 23 日 ~ 30 日(ドイツ・イタリア)、北米班 9 月 26 日 ~ 10 月 4 日(カナダ・アメリカ)、ヨーロッパ B 班 10 月 17 日 ~ 10 月 25 日(フランス・イギリス)
- まちな・み力創出研究会 (8/24) 9:30 ~ 12:30

- ・筑波大学 渡准教授より、米国ミシシッピ州におけるハリケーン被害からの復興と、牡鹿半島を舞台とした東日本大震災からの復興に関する「デザインパタンブック」について、具体的手法をご紹介
- ・八潮市との協働活動の今後の進め方について、全員でディスカッションし、基本的な方向性を明確化
- 国民推進会議運営小委員会 (8/28) 10:00 ~ 11:00
  - ・平成 24 年度全国大会の運営について
- 工事 CS・労務安全管理分科会 (8/28) 15:00 ~ 17:00
  - ・iPad を使用した K Y 教材開発について(労働安全衛生総合研究所)
  - ・第 1 回 屋根からの墜落防止に関する検討委員会について
  - ・「こうすれば助かる」の改訂または廃版について
  - ・社会保険の加入状況調査について
  - ・ミドリ安全 安全靴アンケート結果について
  - ・平成 24 年度 安全優良職長厚生労働大臣顕彰に係わる候補者の推薦について
- 住宅性能向上委員会 SWG1 (8/29) 13:00 ~ 15:00

- ・合同会議（第1回）議事内容についての審議状況報告
- ・省エネ基準見直しについての合同会議（第2回）に対する議事内容の確認
- ・合同会議（第2回）への意見要望内容の検討
- 20年史編纂部会（8/30）10:00～12:00
  - ・住団連20年のあゆみ（年表）修正版について
  - ・住団連事業活動の変遷について（H14～H23分）
- 建築規制合理化委員会WG（8/30）14:00～16:30
  - ・給湯器の転倒防止に係る仕様規定案の中間報告
  - ・24年度規制合理化要望事項の継続審議
  - ・外国の建築基準動向のまとめ
- 温暖化対策分科会（8/31）15:00～17:00
  - ・環境共生住宅 部品データベース リニューアルのご案内
  - ・「住宅産業の自主的環境行動計画 第4版」の改訂について
  - ・住宅・建築物判断基準小委員会 及び 省エネルギー判断基準等小委員会 合同会議 第1回、第2回について
- まちなみ環境委員会（9/3）15:30～17:00
  - ・ミサワホーム（株）西平委員が委員長を退任、兼六土地建物（株）の鍵市委員を全員一致で後任に選任
  - ・WG「まちなみ・み力創出研究会」の上井主査より活動状況を報告する一方、各委員より「まちなみ（略）製作ノート」の普及方法と、八潮市との協働活動の今後の進め方について、有益なサジェスション
- 住宅性能向上委員会 SWG1（9/4）10:00～12:00
  - ・低炭素認定基準策定についての合同会議（第1回）に対する議事内容の確認
  - ・低炭素認定基準策定の合同会議（第1回）への意見要望内容の検討
- 住宅性能向上委員会 SWG1（9/5）13:00～15:00
  - ・省エネ基準合同会議（第2回）及び低炭素合同会議（第1回）議事内容についての審議状況報告
  - ・省エネ基準合同会議（第3回）及び低炭素合同会議（第2回）への意見要望内容の検討
- 省エネ基準見直しについての説明会（9/6）10:00～12:00
  - ・省エネ基準見直し内容及び低炭素認定基準の概要について説明／国土交通省住宅局住宅生産課
  - ・質疑応答
- 環境管理分科会（9/6）15:00～17:00
  - ・「住宅産業の自主的環境行動計画 第4版」の改訂について
  - ・住宅・建築物判断基準小委員会 及び 省エネルギー判断基準等小委員会 合同会議 第1回、第2回について
- 中央イベント第3回企画運営委員会（9/10）14:00～15:00
  - ・スーパーハウジングフェア in ちば実施企画案
  - ・関連企画の中間報告
  - ・行事予定等
- 産業廃棄物分科会（9/10）16:00～18:00
  - ・建設六団体副産物対策協議会 平成24年度 第3回 建設副産物適正処理推進WGについて
  - ・中央環境審議会大気環境部会 石綿飛散防止専門委員会 第4回について
- 20周年記念式典部会（9/12）10:00～12:00
  - ・式典当日行事進行案
  - ・今後の展開について
- 住宅性能向上委員会WG（9/12）14:00～16:00
  - ・最近の住宅政策動向について（低炭素・省エネ基準見直しについて他）
  - ・SWG1 及び SWG2 の活動状況報告について
  - ・住宅性能表示制度推進キャンペーン他について
- 消費税SWG（9/13）10:00～12:00
  - ・住宅消費税の海外調査の最終打合せについて
- 建設業法勉強会（9/14）10:00～12:00
  - ・「建設産業の再生と発展のための方策2012」の共有化
  - ・建設業の許可（第二章）に関する意見交換
- 成熟社会居住研究会（9/14）13:30～15:30
  - ・（社）住団連の平成25年度住宅・土地関連税制改正要望 住宅関連予算要望のとりまとめ結果のご報告
  - ・建築関係法令の整備に関して委員各社から出された要望につき、今後のとりまとめ方法や時期を議論
  - ・明治大学 園田教授より「高齢社会の進展とまちづくり」（市街地再開発）と題し、研究成果のご紹介